

江戸川区 中小企業の景況

2024年4月～6月期

調査対象	製造業	142社	卸売業	17社
	小売業	68社	サービス業	52社
	建設業	43社	不動産業	23社
			合計	345社

調査方法 面接聴取法

調査機関 (一社) 東京都信用金庫協会

分析作成 (株) サベイリサーチセンター

本概要版は、2024年6月上旬に調べた景気動向と、これから先の3か月間(2024年7～9月期)をまとめたものです。
なお、業績等についてはDI値を中心に分析しています。

	大きく上昇	上昇	やや上昇	横ばい	やや下降	下降	大きく下降
	好調			普通		不調	
製造業	20以上	19～10	9～0	△1～△10	△11～△20	△21～△30	△31以下
卸売業	20以上	19～10	9～0	△1～△10	△11～△20	△21～△30	△31以下
小売業	10以上	9～0	△1～△10	△11～△20	△21～△30	△31～△40	△41以下
サービス業	15以上	14～5	4～△5	△6～△15	△16～△25	△26～△35	△36以下
建設業	20以上	19～10	9～0	△1～△10	△11～△20	△21～△30	△31以下
不動産業	10以上	9～0	△1～△10	△11～△20	△21～△30	△31～△40	△41以下

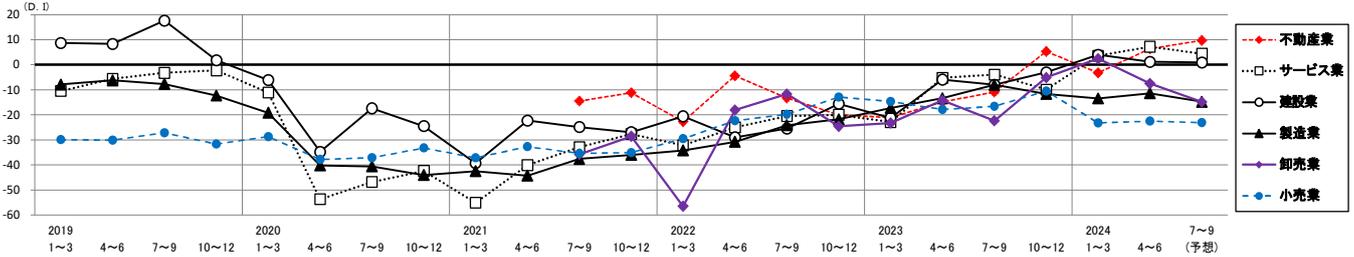
※ D. I. (Diffusion Indexの略)

D. I. (ディーアイ) は、増加(又は「上昇」「楽」など)したと答えた企業割合から、減少(又は「下降」「苦しい」など)したと答えた企業割合を差引いた数値のことで、不変部分を除いて増加したとする企業と減少したとする企業のどちらの力が強いかを比べて時系列的に傾向をみようとするものです。

製造業	前期		-13.5	業況DI(△13.5→△11.4)は悪化が若干弱まりました。売上額(△12.0→△11.1)は前期並の減少幅が続きましたが、収益(△17.2→△18.0)は前期並の減益幅で推移しました。 来期の業況(△14.8 予想)は悪化が多少強まると予想しています。売上額(△15.4 予想)は減少が若干強まりますが、収益(△18.0 予想)は今期同様の減少・減益幅が続くと見込んでいます。
	今期		-11.4	
	来期		-14.8	
卸売業	前期		2.4	業況DI(2.4→△7.5)は再び下降し水面下に大きく落込みました。売上額(△16.2→△3.4)は水面下ながら大きく持ち直し、収益(△14.2→3.7)も大幅に改善しわずかに増勢に転じました。 来期の業況(△14.9 予想)はさらに悪化傾向を強めると予想しています。売上額(△6.0 予想)は幾分減少を強め、収益(△6.6 予想)は大幅に下降し水面下に大きく落込むと見えています。
	今期		-7.5	
	来期		-14.9	
小売業	前期		-23.2	業況DI(△23.2→△22.5)は前期並の悪化幅で推移しました。売上額(△21.5→△17.0)は減少幅が若干縮小しましたが、収益(△24.2→△30.4)は減少・減益がさらに強まりました。 来期の業況(△23.1 予想)は今期並の悪化傾向が続くと予想しています。売上額(△18.2 予想)は今期同様の減少幅で推移しますが、収益(△24.7 予想)は減益傾向がかなり緩和されると予想しています。
	今期		-22.5	
	来期		-23.1	
サービス業	前期		3.6	業況DI(3.6→7.2)は堅調に推移しました。売上額(8.8→15.5)と収益(2.8→9.8)も増加傾向がかなり強まりました。 来期の業況(4.4 予想)は好調さが多少後退すると見えています。売上額(10.2 予想)と収益(6.5 予想)も増加幅がかなり縮小すると予想しています。
	今期		7.2	
	来期		4.4	
建設業	前期		4.0	業況DI(4.0→1.2)は増勢が多少後退しました。売上額(△3.8→10.6)は大幅に持ち直して増勢に転じ、収益(△6.2→△6.2)は前期同様の減少・減益が続きました。 来期の業況(0.9 予想)は今期同様変化なく推移すると見えています。売上額(8.7 予想)は増加幅が若干縮小し、収益(△11.6 予想)は悪化幅が拡大すると予想しています。
	今期		1.2	
	来期		0.9	
不動産業	前期		-3.2	業況DI(△3.2→6.4)は再び大きく持ち直してプラスに転じました。売上額(△2.4→6.9)と収益(△4.7→0.5)も大幅に改善し増勢に転じました。 来期の業況(9.7 予想)は堅調に推移すると見えますが、売上額(△1.3 予想)と収益(△6.7 予想)はともに下降し減少に転じると予想しています。
	今期		6.4	
	来期		9.7	

江戸川区の中小企業／業種別景況の推移

〔過去5年間の業況D.Iの推移〕 ※(D.I=「増加回答値」-「減少回答値」)



	2019 1~3	4~6	7~9	10~12	2020 1~3	4~6	7~9	10~12	2021 1~3	4~6	7~9	10~12	2022 1~3	4~6	7~9	10~12	2023 1~3	4~6	7~9	10~12	2024 1~3	4~6	7~9 (予想)
製造業	-7.9	-6.2	-7.7	-12.3	-19.2	-40.2	-40.6	-44.0	-42.5	-44.3	-37.6	-36.0	-34.2	-30.8	-24.2	-21.8	-17.3	-13.4	-8.0	-11.7	-13.5	-11.4	-14.8
卸売業											-35.8	-28.6	-56.5	-18.1	-11.7	-24.6	-23.3	-14.2	-22.4	-5.1	2.4	-7.5	-14.9
小売業	-29.9	-30.1	-27.2	-31.7	-28.7	-37.8	-37.1	-33.2	-37.2	-32.7	-35.4	-35.1	-29.5	-22.3	-19.8	-12.9	-14.7	-17.9	-16.6	-10.5	-23.2	-22.5	-23.1
サービス業	-10.5	-5.6	-3.2	-2.2	-11.1	-53.7	-46.8	-42.4	-55.1	-40.1	-32.9	-27.7	-32.2	-25.0	-20.5	-20.0	-22.9	-5.2	-3.9	-9.9	3.6	7.2	4.4
建設業	8.7	8.3	17.6	1.8	-6.1	-34.8	-17.4	-24.5	-39.3	-22.3	-24.9	-27.0	-20.6	-29.0	-25.5	-15.6	-21.2	-5.9	-8.0	-3.0	4.0	1.2	0.9
不動産業											-14.5	-11.2	-22.7	-4.4	-13.3	-20.0	-21.1	-14.8	-10.9	5.3	-3.2	6.4	9.7

経営者から寄せられた声 (2024年4~6月)

【景況全般について】

- ・先行きは好調、昨年対比は微増（繊維製品製造業）
- ・材料価格の高止まりで仕事の動きがとても悪い。先行き不透明感が拭えない。（鉄鋼業）
- ・インフレと金利先高感の影響で、住宅投資の見合わせが多い。（建築材料卸売業）
- ・顧客が値上げについてこられない可能性。景気下押しになるとの懸念がある。（設備工事業）

【受注・売上・単価・仕事量について】

- ・金型業界は各社受注量に大きく差があり、無いところはほとんど無い状況。価格転換どころではなく、現実には相当安価で受注している。（金属製品製造業）
- ・取引先全体に受注減となっている中、材料費運送費が高騰しているため、価格の見直しをお願いしている。（金属製品製造業）
- ・大雨酷暑による顧客数減少があります。（飲食業）

- ・賃金や材料費、電気料金の値上がり分を、価格に転嫁できない状況。（印刷業）
- ・最低賃金が上がり、取引先へ単価の見直しを提案したいが、内部利益の確保が優先して交渉が進まない。（事業サービス業）

【経営上の課題と経営改善等に向けての取組み】

- ・展示会に初出展し、ブランディングの強化と販路開拓に成功している。（自動車部品製造業）
- ・カード決済が出来るようになったので、次はHPで通販を検討している。（革製品製造業）
- ・えどがわ産業ナビに登録し、他の地域の顧客開拓を進める。（金属製品製造業）
- ・今後の展望のため、銀行と中小企業診断士の支援を受け、事業計画書を作成する。（鉄鋼業）
- ・DX化に力を入れている。単純作業のロボット活用を検討する。（その他の製造業）

江戸川区の企業倒産動向 (2024年4~6月)

江戸川区の企業倒産動向

2024年4~6月期の江戸川区の倒産件数は、前期比25.0%減の15件（前期20件）、負債総額は前期比92.3%増の17億33百万円（前期9億1百万円）でした。

業種別にみると、件数では“建設業”が6件で最も多く、次いで“サービス業”と“不動産業”が2件で続きました。負債総額は“小売業”が14億21百万円で最も多く、次いで“建設業”（1億32百万円）が続きました。

	(単位: 件・百万円)					
	前年同期 2023年4~6月		前期 2024年1~3月		今期 2024年4~6月	
	件数	負債総額	件数	負債総額	件数	負債総額
製造業	4	335	1	12	1	10
卸売業	3	1,910	3	165	1	13
小売業	3	83	2	56	1	1,421
サービス業	0	0	4	60	2	30
建設業	1	10	3	229	6	132
不動産業	0	0	1	10	2	50
情報通信業・運輸業	3	60	2	60	0	0
宿泊業、飲食サービス業	1	20	1	10	1	27
その他	2	237	3	299	1	50
合計	17	2,655	20	901	15	1,733

出典: 東京都産業労働局「東京の企業倒産状況」(負債額1000万円以上の倒産) (株)東京商工リサーチ調べ

江戸川区 産業経済部 経営支援課 調査計画係

TEL: 03-5662-9014 (直通)